

平成 28 年度
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校教科委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・卒業生保護者 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

平成29年8月1日（火）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には自己点検評価書類を配布、学校側から自己点検に関する概要及び評価結果を説明。教職員との意見交換を通して得られた意見等をまとめる事とした。

4. 各項目における学校関係者評価

*評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

◆学校関係者評価委員コメント

28年度の自己点検評価に対して評価委員より下記の意見等を頂いた。

- ・学生募集において入学者確保が課題となっているが、他校でも行われている留学生受入れは検討されていないのか。又、留学生の受入れが困難な理由があるとすればどういった点に問題があるのか。
- ・平成26年度から比べると27年度、28年度と退学率が高い状態が続いているが、大きな要因は何か。例えば、1) 学力不足を含む学習意欲の問題 2) 経済的な問題など。入学後の学生指導の見直しで対応できる可能性がある場合が増えているのか、それとも学校側だけでは対応できない場合が増えているのか。
- ・近年、就職してきても上司や年長者と上手くコミュニケーションを取れない人材が増えて来ているが、学生の状況はどうなっているか。
- ・オープンキャンパスの参加者数が前年に比べると若干減少しているが要因は何か。

- ・この自己点検評価は学生や学校関係者以外も見ることには出来るのか。
又、学校関係者以外が見る事が出来るのであれば、学校の教育理念を自己点検評価の中で、判り易く説明する必要があるのではないか。
- *前年度の自己点検評価と比較すると幾つか項目において評価点が変更になっている部分があるがとの質問があり、学校側より 28 年度からは自己点検の実施にあたりより多くの教職員の評価を取り入れるように改善を図った旨を説明。又、評価委員より自己点検評価の際、改善を求める評価だけでなく違った面からの評価が行われても良いのではとの意見があった。

(1) 教育理念・目標

【項目総括】 建学の精神である「人間味豊かな産業人の育成」という教育理念は掲げられているが、脅威職員、学生、保護者及び関係者等への周知方法に課題がある。今後は学内への掲示、ホームページへの掲載などより明確な周知が必要である。		
【特記事項】		
【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4 (適切)	4 (適切)
学校おける職業教育の特色は持っているか	4 (適切)	4 (適切)
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(2) 学校運営

【項目総括】 28 年度は法人が作成する後期実施計画 (28~30) の初年度にあたり、「教育内容の充実」「学生支援体制の整備」「経営改革の推進」「学生生徒の確保」の取組み及び年度中の実施計画見直し等も行い学校運営に当たっている。又前年度の課題であった事務局における経理処理の簡素化については、収入・支出台帳の電子化 (EXCL 化) 支払伝票等の電子化 (EXCL 化) を図り改善に努めた。又、安定的な学校運営を継続する為、平成 30 年度以降の学生募集等に関するワーキンググループの立上げも検討する事とした。	
【特記事項】	

【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、規程等において明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
人事等に関する規定等は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
システム化等により業務効率化が図られているか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)

(3) 教育活動

<p>【項目総括】 教育編成委員会の開催、学生等による授業評価の実施及び結果開示など教育活動の改善には引き続き努めているが、1) 授業研究時間の確保 2) 基本的な技術教育の見直しなど新たな課題が見受けられる。</p>		
<p>【特記事項】</p>		
【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (適切)	4 (適切)
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4 (適切)	4 (適切)
関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4 (適切)	4 (適切)
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (適切)	4 (適切)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	4 (適切)	4 (適切)
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系	4 (適切)	4 (適切)

的な位置づけはあるか		
人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 (適切)	4 (適切)
関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	4 (適切)	4 (適切)
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(4) 学習成果

【項目総括】		
就職率の向上に関しては就職希望者の内定 100%が維持されている他、求人企業数の増加など成果が上がっている。但し退学率の低減については、27年度からの大きな改善は見られていない。今後は従来からの個人面談、家庭訪問等の取組みの他、退学理由の検証・分析等を行い更なる対策を行う必要がある。		
【特記事項】		
【点検事項】	自己点検	学校関係者評価
就職率の向上が図られているか	4 (適切)	4 (適切)
資格取得率の向上が図られているか	4 (適切)	4 (適切)
退学率の低減が図られているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(5) 学生支援

【項目総括】		
前年度からの課題である学生の健康管理を担う体制整備が、大学の医務室との連携を図っているが場所的問題（専門学校から大学への移動など）が有り充分とは言えない状況である。課外活動に関しても具体的なクラブ活動は実施出来ていないが、本年度も車体整備工学科の学生による旧車（日産グロリア）のレストアを実施し、新聞等にも取り上げられる事となった。		
【特記事項】		

【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
進路に関する支援体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学生相談に関する体制は整備されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)
保護者と適切に連絡しているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
卒業生への支援体制はあるか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	4 (適切)	4 (適切)

(6) 教育環境

<p>【項目総括】 本館防水塗装工事、2号館屋上への移動式粉末消火設備設置など施設整備に関して継続して取組んでいるが、職員・学生への防火訓練等の実施について課題がある。又、実習車両等についても更新計画を作成し一定期間毎の入替えを検討する必要がある。</p>		
<p>【特記事項】</p>		
【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対抗できるように整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4 (適切)	4 (適切)
防災に対する体制は整備されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(7) 学生募集

<p>【項目総括】 28年4月より「専門学校久留米自動車工科大学校」に校名変更した他、他校との差別化を図る為、学科改組（一級自動車工学科／4年課程、車体整備工学科／3年課程、二級自動車工学科／2年課程）を実施し募集活動に取組んでいる。又、新たな学校紹介PV、自動車整備士の仕事内容を紹介するリーフレット作成、スマートフォンにも対応した新ホームページの運用（29年3月より）など更なる取り組みも実施している。更に29年4月入学生からの学納金についても学則変更を行い見直しが行われている。しかしながら28年度におけるオープンキャンパス参加者、入学者数は前年度を下回る結果となり引き続き本校の課題となっている。</p>

【特記事項】		
【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4（適切）	4（適切）
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4（適切）	4（適切）
校納金は妥当なものとなっているか	4（適切）	4（適切）

(8) 財務

【項目総括】 財政基盤としては、依然債務を抱えておらず学校運営に支障は出ていないが、近年の入学者数減少といった状況は改善されておらず学校経営上も中長期的な経営安定化策の検討が必要な状況である。予算・収支についても、引き続き監事による期中・期末監査の実施の他、新年度の予算案作成時には法人本部による予算ヒアリングが実施されるなど適正化が図られている。財務情報についても法人ホームページにおいて、決算・監事監査報告を公開するなど明確化がなされている。		
【特記事項】		
【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4（適切）	4（適切）
財務について会計監査が適切に行われているか	4（適切）	4（適切）
財務情報公開の体制整備はできているか	4（適切）	4（適切）

(9) 法令遵守

【項目総括】 法令、設置基準については学校法人規定集及び学則において定められ適正な学校運営が行われている。自己点検評価後の改善方策は作成されているがまだ具体的に実施に至っていない部分もあり今後の課題となっている。		
【特記事項】		

【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4（適切）	4（適切）
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）
自己評価結果を公開しているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）